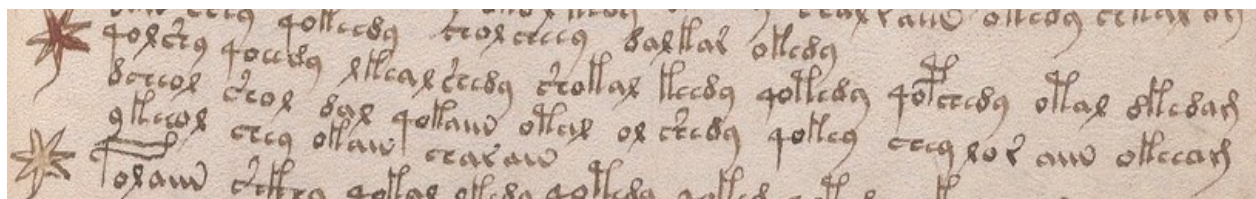


どこの地域の紹介でしょうか。



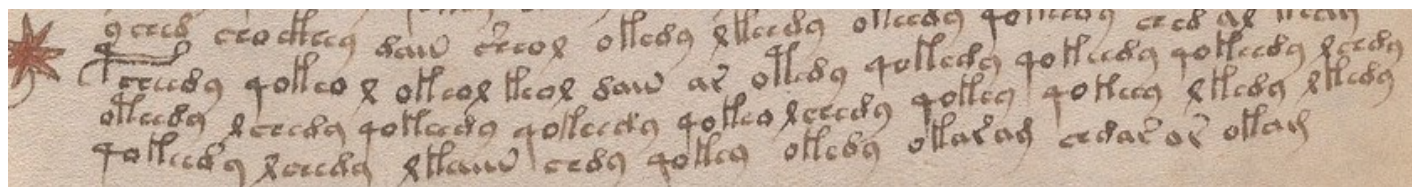
★

nadaumbab nadattsb umqtaumbatsb badaqaum qttsb nadaftsb nadapaatsb dafaum sqtsazi  
家の無い勢力はナダツツ国で、水乾が無くて大きいのはウムバット国だった。  
自立希望に従った、クツツ国、ナダフト国、ナダパアアト国は豊かな希望で、  
可能性の集まりを隠さなかった。

saatdaum badaum saum nadaqand dafaum daumbatsb nadaqttb aatb umdar and daqttazi  
大半の家は軒並み指導者は**奴連合**で豊かな希望があった。ダウムバット国は自立国ではなく  
人が増え、様々な農地ではあるが統治される可能性があった。

bqtttaum aatb daqaid aaraid  
後からの家には人が増え自助で、幾らかの地の恵みがあった。(荒地を手当した。)

このページの最下の紹介です。国名と他の単語との区別が難しい所です。



★

paattsb nadaqtdaum daqtdaum qtdaum said ar daftsb nadaqtsb nadaqttsb nadaqttsb umaasb  
プアアツツ国には統治家が無かった。統治家が小さな家は、古い土地のダフト国、  
ナダクト国、ナダクツツ国、ナダクツツ国、ウムアア国、

dafttsb umaatsb nadaqtsb nadaqttsb nadaqtb umaatsb nadaqtb nadaqttb taqtsb umqtsb  
ダフツツ国、ウムアアト国、ナダクツツ国だった。ナダクツツ国は独立国で無く、ウムアアト国も  
独立国でなかった。統治されない国の、タクト国、ウムクト国、

nadaqttsb umaatsb umqand aasb nadaqtb daqtsb daqarazi aasar dar daqazi  
ナダクツツ国、ウムアアト国は、色々としても発展した。無自立国のダクト国は独立した土地が  
可能で、定まった土地や農地に自立が可能だった。